

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月27日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	裾野市	代表者名	市長 高村 謙二
担当者部署	企画部企画政策課	連絡先電話番号	055-995-1804
担当者役職		担当者氏名	
住所	410-1192 静岡県裾野市佐野1059		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	通常の研修講師では言えないところまで突っ込んでの指摘や現在の実情を話していただいた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月21日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	裾野市役所	最寄駅	裾野駅	
	所在地	静岡県裾野市佐野1059			
	最寄駅からの交通手段	徒歩(5分程度)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	61人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	
	データやデジタル技術を駆使して効果的・効率的に行政サービスを提供する「スマート市役所」を目指すためには、業務上でどの部分が課題(支障)となっているのかを明確に定義する必要がある。市スマート市役所部会で課題を洗い出すに当り、外部からの最新の知見やノウハウをインプット頂く必要がある。	
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	
	・スマート市役所構築のための庁内業務における課題の整理に資する予備知識の習得 ・職員の意識改革	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	
	スマート市役所構築のための庁内業務における課題の整理を行う上で、スマート市役所やDXにおける最新動向とスマート市役所化を進める上で支障となる部分について、専門家の立場から講演いただいた。	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	
	・スマート市役所構築のための庁内業務における課題の整理に資する予備知識を習得した。 ・職員の意識改革の第1歩となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	次回までにスマート市役所化に向けた業務における課題整理を行い、課題リスト化を行う。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ①スマート市役所やDXについて理解できた人の割合:54.5% ②現状のままの業務の進め方で問題があると感じている人の割合:84.8% ※スマート市役所やDXについては、概念的な所もあるので、取組みを進める上で、徐々に浸透してくると思われる。②について、一番重要な改革に向けてのマインドの醸成につながったと評価できる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	スマート市役所化の推進(庁内業務のICT等のデジタル技術の実装を推進し、かつ、デジタル技術の実装に不可欠な業務自体のデジタル化(紙からの脱却)を進める)により、市民および職員にとって新たな価値が生まれ出される状態。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

